

乳幼児がいる母親のための「私」ケア事業

【団体名】NPO 法人子育てママ応援塾 ほっこりの

【担当部署】健康福祉部 福祉・児童センター

【提案型】自由テーマ

1. 事業の目的

コロナ禍における乳幼児を持つ母親たちの孤立を防ぐ。産後うつ予防や虐待防止が目的

2. 実施内容

コロナ禍における0～2歳児の母親のための「私」ケア事業

日時：2021年6月期、11月期

会場：蕨市福祉・児童センター

参加者数：10組×2回

内容：1回目助産師とお産を振り返る 2回目理学療法士とボディーケア

3回目キャリアコンサルタントと仕事について考える 4回目振り返りの会



完全託児付きで集中して参加いただきました



令和3年度
蕨市政策提案協働事業

託児付き！0～2歳児ママ向け
コロナ禍における乳幼児がいる
母親のための
「私」ケア事業(全4回)

託児中、在席のご迷惑は避けたいと考えております。
お子様を預けてお母様が安心して参加できるように、お母様の安心を第一に考えております。
託児料は別途お支払いとなります。

開催日時
第1回 11月16日(木) 第2回 11月25日(木) 第3回 12月2日(木) 第4回 12月9日(木)
【定員】10名 【時間】10:30～12:00
※全回無料託児付き

内容 第1回…メンタルケア 第2回…ボディーケア
第3回…ワークライフバランス 第4回…振り返りの会

場所 蕨市福祉児童センター(蕨市蕨町中央4-9-22)F

料 金 500円(4回分のアロマスプレー材料費)

託児方法 10/4〜ほっこりの蕨HP内QRコードにて
※応募多数の場合は抽選となります

蕨市とNPO法人子育てママ応援塾ほっこりの協働事業です。蕨市には、平成28年4月から
開始した市民参加型政策提案事業(市民提案)があり、市民が提案した政策が実際に採用され、
市民提案が実現することもあります。1回年1回の市民提案制度では、なかなかNPO法人など
の市民提案が実現しづらい状況で、地域と市民との関係強化を図ります。

3. 役割分担

団体：講座企画運営、託児、チラシ制作に関すること

市：市報及びチラシによる広報、会場確保に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 289,618円（うち蕨市協働事業補助金 260,000円）

(2) 支出の主な内容

報償費（講師謝礼）、報償費（託児保育士）、印刷製本費（チラシ作成）、

5. 協働による効果

母親たちが子どもと離れて、専門家のファシリテーターのもと、自分自身の心と体をケアする大切さを学び、交流の中で話をしながら涙される光景が多々見られた。産後うつ予防に役立ったと考えられる。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

コロナ禍における母親たちの孤独は予想以上であった（里帰り出産不可など）。また、不妊治療や帝王切開の率も高く（帝王切開は参加者の約半数）、産後の痛みを分かち合ったり、治療の末に授かったのに可愛いと思えないというような、人にはなかなか言えないような話をみんなで共有した。「自分だけではない」と思えて、安心したというお声をいただいた。頑張り過ぎない、頼っても良いというお話をさせていただいた。来年度は、さらに地域サポーター繋がりを増やしていく活動にバージョンアップしていきたい。

【担当課より】

福祉・児童センターでは主に乳幼児を対象とした事業を展開しているが、今回、乳幼児を持つ母親を対象とした事業を協働で実施できたことで、新たなニーズの掘り起こしに繋がった。また、チラシを通じて幅広く周知を図ったこともあり、福祉・児童センターに初めて来られた参加者もあり、児童館を知ってもらう良い機会となった。